

平成 27 年度予算 主な事業の概要

本市の総合計画のめざすべき都市像「豊かな自然と歴史に恵まれたにぎわいとやすらぎのあるまち～みんなが住みたい、住み続けたいと実感できるまちづくり～」の実現のために、6つの「まちづくりの基本目標」のもと、各種の施策を展開する中で、平成 27 年度については、市民が安心して安全に暮らせるまちづくりの実現に向けて、本市が直面する様々な行政課題に迅速かつ的確に対応できる予算とすることを基本としています。その重点事業の主なものとしては、次のとおりです。

- ・ 公立こども園整備事業
- ・ (仮称) 野洲市立病院整備事業
- ・ 新クリーンセンター施設整備事業
- ・ 交通安全施設整備事業
- ・ 特別支援教育の充実・不登校対策
- ・ 生活困窮者支援事業
- ・ 野洲駅及び篠原駅周辺都市基盤整備事業
- ・ 雨水対策事業

※ 財源内訳の () は、以下のことを表しています。

(使) : 使用料及び手数料、(国) : 国庫支出金、(県) : 県支出金

(繰) : 繰入金、(諸) : 諸収入、(債) : 市債、(一) : 一般財源

『豊かな人間性をはぐくむまち』

○継続【重点事業】 公立こども園整備事業： 7 億 1,710 万 1 千円
(前年度：9,756 万 5 千円)

(仮称)野洲第 1 こども園の開園に向けて、園舎建築工事に取り組みます。

園舎建築監理委託 1,115 万 6 千円

園舎建築工事費 6 億 8,692 万 2 千円

その他工事関連経費 1,902 万 3 千円

財源内訳：

(債) 6 億 8,080 万円

(一) 3,630 万 1 千円

◎新規 私立保育園施設整備： 1億5,302万円

野洲市幼保一元化方針および幼稚園・保育所施設整備計画に基づき、待機児童対策として竹ヶ丘地先において保育施設を設置する法人に対し、施設建設補助金を交付します。

財源内訳：

(国)	1億3,601万9千円
(債)	1,610万円
(一)	90万1千円

○継続 児童手当： 9億5,177万5千円（前年度：9億7,225万5千円）

《支給額》

3歳未満	：	一律 15,000円
3歳以上小学校修了前	：	第1、2子 10,000円、第3子以降 15,000円
中学生	：	一律 10,000円
所得制限世帯	：	一律 5,000円（所得や扶養親族の人数によって異なります。）

財源内訳：

(国)	6億6,626万8千円
(県)	1億4,275万3千円
(一)	1億4,275万4千円

○継続 学童保育所運営費： 2億9,632万8千円（前年度：3億626万円）

野洲市社会福祉協議会へこどもの家の運営を指定管理委託し、安心・安全なこどもの居場所づくりを行います。

財源内訳：

(使)	6,746万5千円
(国)	50万円
(県)	6,197万2千円
(繰)	1億5,000万円
(諸)	836万8千円
(一)	802万3千円

○継続 子育て短期入所生活援助（ショートステイ）事業： 10万5千円
（前年度：10万5千円）

子育て夜間養護等（トワイライトステイ）事業： 4万2千円
（前年度：4万2千円）

保護者の疾病や育児疲れ、育児不安等（ショートステイ対象）、保護者の仕事等（トワイライトステイ対象）の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、市と契約を結んだ児童養護施設等において養育を行います。

財源内訳：

（国）	4万5千円
（県）	4万5千円
（一）	5万7千円

◎新規 自尊感情・学びの礎育成プロジェクト事業： 12万5千円

子どもが主体的に進路を切り拓き自己実現を果たしていけるよう、人権の視点を教育活動の基本に、学校・園・所・関係機関・家庭および地域社会がつながり、子どもの自尊感情を高める取組を推進します。

財源内訳：

（一）	12万5千円
-----	--------

◎新規 野洲市いじめ問題対策事業： 19万2千円

野洲市で起こるいじめ防止のため専門委員会を設置し、関係機関と連携します。

野洲市いじめ問題等対策連絡協議会

野洲市立小中学校いじめ問題専門委員会

財源内訳：

（一）	19万2千円
-----	--------

●拡充 元気な学校づくり事業補助金： 80万円（前年度：60万円）

各学校の創意工夫の下、地域に根ざした特色ある教育活動を推進できるように補助します。

財源内訳：

（一）	80万円
-----	------

**○継続【重点事業】 特別支援教育の充実、不登校対策： 4,830万9千円
(前年度：4,895万4千円)**

《特別支援教育の充実》

障がいのある児童及び生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援を行うため、コーディネーター加配や支援員の配置、巡回相談員の派遣等を行います。

《不登校児童及び生徒への支援》

不登校児童及び生徒への支援を図るため、心のオアシス相談員やスクーリング・ケアサポーターを学校に派遣して、不登校の未然防止や支援の充実を図ります。

また、不登校児童及び生徒の学校復帰を目指して、ふれあい教育相談センターにおいて適応指導教室、こころの教育相談を実施します。

財源内訳：

(県) 19万4千円
(一) 4,811万5千円

◎新規 中主中学校武道場非構造部材耐震対策： 236万5千円

国が撤去等の耐震対策を要請する特定天井である中主中学校体育館二階の武道場に対策工事を実施するための実施設計を行います。

財源内訳：

(一) 236万5千円

◎新規 学校ICT環境整備事業： 488万4千円

学校におけるICT環境整備を進めるため、市内小中学校のうち各々1校をモデル校とし関連機器（電子黒板1台、タブレット端末40台）を導入します。

財源内訳：

(一) 488万4千円

『人とひとが支え合う安心なまち』

○継続 扶助費

障がい者自立支援費

7億9,345万4千円

(前年度：7億4,817万4千円)

財源内訳：

(国) 3億9,587万6千円

(県) 1億9,793万8千円

(一) 1億9,964万円

福祉医療助成費

3億5,339万8千円

(前年度：3億5,331万6千円)

財源内訳：

(県) 9,934万2千円

(諸) 4,415万5千円

(一) 2億1,050万1千円

生活保護費

3億8,633万9千円

(前年度：4億42万8千円)

財源内訳：

(国) 2億8,675万4千円

(県) 203万1千円

(一) 9,755万4千円

○継続【重点事業】(仮称)野洲市立病院整備事業： 101万2千円

(前年度： 2,098万円)

本市の地域医療サービスの継続に向けた中核的医療拠点として、(仮称)野洲市立病院の整備を進めます。

財源内訳：

(一) 101万2千円

○継続 強度行動障がい者通所特別加算費： 474 万円

(前年度：417 万 6 千円)

重度強度行動障がい者の日中活動の場の確保と処遇改善を目的として、生活介護サービスの利用に当たり 1 対 1 での支援に対応できるよう特別加算費を事業所に対して支給します。

- ・対象者 障がい支援区分 5 又は 6 で行動援護基準 15 点以上

財源内訳：

(一) 474 万円

●拡充 相談支援の充実に向けた体制整備：3,505 万 9 千円

障がいのある人やその家族等が身近に相談できる拠点を新たに市内に整備し、安心して地域で自立した生活を送るための支援を充実します。また、平成 27 年 4 月から必須となる計画相談支援を促進します。

湖南地域（知的障がい者）相談支援事業負担金：459 万 9 千円（前年度 453 万円）

湖南地域（精神障がい者）地域活動支援センター I 型事業運営委託料

：1,600 万円、うち野洲市負担金：288 万 7 千円

（前年度 1,600 万円、うち野洲市負担金：290 万 1 千円）

障がい者相談支援事業委託料：1,446 万円（新規）

財源内訳：

(国) 99 万 1 千円

(県) 49 万 5 千円

(繰) 762 万 5 千円

(諸) 1,311 万 3 千円

(一) 1,283 万 5 千円

●拡充 発達支援事業費：127 万円（前年度：116 万 3 千円）

来所や電話による相談や巡回発達相談事業に加え、保育所等訪問支援事業や、乳幼児期の発達相談の一元化によりその内容を充実し、乳幼児期から成人期までの発達に支援を必要とする人とその家族や支援者に対する相談支援を実施します。また、新規に障害児計画相談事業を開始し、障害児通所サービス利用者等に対して障害児支援利用計画を作成し、総合的に支援します。

財源内訳：

(国) 7 万 4 千円

(県) 3 万 7 千円

(一) 115 万 9 千円

●**拡充 妊婦健康診査助成事業：4,448万2千円（前年度：3,499万4千円）**

「基本受診券」を助成額70%に調整するため、助成額を引き上げます。

＜一人当たり助成額＞

H26:74,390円 → H27:94,560円（+20,170円）

財源内訳：

（一） 4,448万2千円

○**継続 保健事業費（各種検診等）：3,645万7千円**

（前年度：3,109万3千円）

生涯にわたり健康を維持できるよう健康相談、健康教育、がん検診、訪問指導等を実施します。乳がん・子宮がん・大腸がん検診に係る無料クーポン券の配布は平成27年度も継続します。大腸がん検診については、個別医療機関を拡大します。

財源内訳：

（国） 761万9千円

（県） 410万4千円

（諸） 376万5千円

（一） 2,096万9千円

○**継続 地域医療体制整備補助事業：1億1,590万3千円**

（前年度：1億1,527万1千円）

地域医療の中核病院として、地域の医療の充実、医療提供体制の整備を促進し、市民の健康保持を図るため、特定医療法人御上会（野洲病院）に対して補助を行います。

財源内訳：

（一） 1億1,590万3千円

◎**新規 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金：1億627万2千円**

（前年度：2億627万2千円）

消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、軽減税率などの負担軽減策が講じられるまでの暫定的な措置として平成26年度に実施した臨時福祉給付金について、平成27年10月に予定されていた消費税率10%への引き上げが、軽減税率の導入とともに平成29年4月に延期されたことに伴い、継続実施します。また、子育て世帯

への給付金についても、同様に、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から継続実施します。

臨時福祉給付金	7,045 万円
子育て世帯臨時特例給付金	3,582 万 2 千円

財源内訳：	
(国)	1 億 145 万円
(一)	482 万 2 千円

○継続 市営住宅改修事業： 4,420 万 8 千円（前年度：4,576 万円）

老朽化した市営住宅永原第 2 団地 3 号棟の内外装の改修を行い、居住空間の安全性を確保します。

実施設計委託料	159 万円
施工監理委託料	217 万 8 千円
改修工事費	3,924 万円
移転補償金	120 万円

財源内訳：	
(債)	4,080 万円
(一)	340 万 8 千円

○継続 野洲市消防団(篠原分団)詰所移転事業： 2,455 万 2 千円

野洲市消防団(篠原分団)詰所の移転に向け、用地取得・詰所の設計等に取り組むことにより、消防団を中核とした地域の防災力及び機動力の向上を推進します。

実施設計	485 万 2 千円
土地購入費	1,970 万円

財源内訳：	
(債)	1,840 万円
(一)	615 万 2 千円

○継続【重点事業】 生活困窮者支援事業： 2,433万7千円

(前年度：897万4千円)

経済的困窮もしくは社会的孤立により、生活困窮状態に陥っている人を対象にパーソナル・サポートサービス事業の取組を基本とし、就労支援や家計相談支援を行うなど、市役所の総合力で相談者の発見、生活再建支援を実施します。

平成28年度から、貧困連鎖を断ち切ること、貧困に陥ることを防ぐことを目的として、学習支援事業に取り組みます。

財源内訳：

(国) 1,444万7千円

(県) 474万円

(一) 515万円

『地域を支える活力を生むまち』

○継続 多面的機能支払交付金： 7,779万6千円

(前年度：1,331万2千円)

農業者と非農業者が共同で、または農業者が単独で取り組む農地や農業用施設の保全活動及び農村環境向上のための活動を支援します。

財源内訳：

(県) 5,868万6千円

(一) 1,911万円

○継続 機構（農地）集積協力金： 1,507万5千円（前年度：2,130万円）

県農地中間管理機構に農地集積することで「機構集積協力金」を交付します。

財源内訳：

(県) 1,507万5千円

○**継続 中小企業利子補給金： 605万5千円（前年度：600万7千円）**

市内で営業する中小企業者が市の定める融資制度を利用した場合、その支払利息の一部を補給します。

- 《 対象者 》 野洲市内で事業を営む個人
野洲市に住所を有し事業を営む法人
- 《 利子補給率 》 利子補給率：0.4%

財源内訳：

(一) 605万5千円

◎**新規 野洲市夏まつり実行委員会運営事業補助金： 200万円**

野洲川大花火大会を開催します。

なお、実行委員会方式で開催することにより、市民と行政が協働し、地域資源を生かした活力ある大会をめざします。

財源内訳：

(一) 200万円

『美しい風土を守り育てるまち』

○**継続【重点事業】 新クリーンセンター施設整備事業： 32億114万1千円
（前年度：9億4,926万1千円）**

平成28年10月の操業開始に向けて、引き続き新センターの建設工事を進めます。

また、新センターの包括的管理運営事業の技術審査委員会を設け、要求水準などの審査を行います。

建設工事関連 31億8,901万5千円

包括的管理運営事業関連 1,212万6千円

財源内訳：

(国) 8億5,053万7千円

(債) 22億500万円

(一) 1億4,560万4千円

◎新規 現野洲クリーンセンター解体計画調査： 1,934万3千円

新センター操業開始後に、速やかに現センターを解体除却するため、調査及び設計を進めます。

財源内訳：
(一) 1,934万3千円

◎新規 環境基本計画策定業務委託： 324万円

現行の環境基本計画は平成28年度までを対象期間としていることから、平成29年度以降の10年間を対象期間とする第2次環境基本計画の策定作業を進めます。

財源内訳：
(諸) 150万円
(一) 174万円

○継続 環境基本計画推進事業： 160万円（前年度171万1千円）

環境基本計画に定める、市民・事業者との協働推進プロジェクトに対する支援を行います。

財源内訳：
(諸) 160万円

『うるおいとにぎわいのある快適なまち』

○継続【重点事業】 篠原駅周辺都市基盤整備： 2,736万7千円
(前年度:1億1,356万2千円)

本市と近江八幡市、竜王町との2市1町で取り組んでいるJR篠原駅周辺整備事業に係る負担金を計上します。

財源内訳：
(債) 2,440万円
(一) 296万7千円

○継続 コミュニティバス運行費： 3,704万5千円（前年度：3,652万8千円）

公共交通機関の一つであるコミュニティバスをきめ細かく運行することにより、地域住民の移動手段の確保及び便宜の向上を図ります。

《運行コース》

あやめコース
祇王・中里コース
篠原コース
三上コース
中央循環コース

財源内訳：

(使) 633万2千円
(県) 208万1千円
(一) 2,863万2千円

○継続 道路維持工事： 1億167万3千円（前年度：3,583万円）

危険度の高い箇所の修繕や整備優先度の高い箇所の整備を行うことで、健全な道路環境を維持します。

＜橋梁長寿命化工事： 2,870万円＞

＜道路維持補修工事： 5,340万円＞

- ・市道市三宅小南線
- ・市道乙窪比留田線
- ・市道甲賀葉山線
- ・市道五条吉川湖岸線 他6路線

＜橋梁定期点検業務： 1,904万3千円＞

財源内訳：

(国) 2,530万6千円
(債) 5,420万円
(一) 2,216万7千円

**○継続【重点事業】 交通安全施設整備事業： 3,456万1千円
（前年度：1億1,151万8千円）**

通学児童をはじめとする歩行者等の安全確保を図り、道路安全施設等の適正な維持管理及び整備することにより、交通事故の減少、注意喚起を図ります。

柿ノ木原踏切道拡幅工事 他4箇所

財源内訳：

(国) 440万円
(債) 1,630万円
(一) 1,386万1千円

○継続【重点事業】 雨水対策事業： 1億5,310万4千円

(前年度：1億2,509万円)

祇王井川第2排水区域に係る常襲的な浸水被害を解消するための雨水幹線の整備を行い、引き続き浸水被害の軽減を図ります。

〈事業実施期間〉

平成24～27年度 全長1,300m

平成27年度 延長420m

また、平成28年度以降において上流区間の雨水対策事業を実施するため、事業変更計画を策定します。

財源内訳：

(国) 7,200万円

(債) 6,530万円

(一) 1,580万4千円

○継続【重点事業】 野洲駅周辺都市基盤整備： 6億4,590万7千円

(前年度：1,058万3千円)

JR野洲駅周辺の賑わいの創出と安心・安全のため野洲駅南口及び北口広場の整備を行います。

〈南口広場〉

・野洲駅南口周辺整備（前期）基本計画策定業務 1,093万4千円

・駅前土地購入費 1億8,465万8千円

〈北口広場〉

・野洲駅北口広場整備事業 4億5,031万5千円

財源内訳：

(国) 2億3,622万5千円

(債) 2億60万円

(一) 2億908万2千円

○継続 下水道事業の地方公営企業法適化<下水道事業特別会計>

: 1,547万7千円(前年度:1,773万4千円)

下水道事業の経営基盤を強化し、長期的に安定した経営を持続していくため、企業会計を導入(地方公営企業法適用)します。

平成27年度~平成28年度	固定資産評価・調査 移行手続き(予算編成・例規等)
平成28年度	企業会計システムの構築
平成29年4月1日	完全移行

財源内訳:
(使) 1,547万7千円

○継続 配水給水事業<水道事業会計>

: 8,448万9千円(前年度:4,151万円)

管路の漏水調査による有収率の向上等、給配水管の適正な維持管理を行います。また、自己水の確保に努め、清浄にして低廉な水の安全・安定供給を図るため、経年配水管の布設替事業を行います。

財源内訳:
(一) 8,448万9千円

『市民と行政がとものつくるまち』

◎新規 市ホームページリニューアル事業: 114万4千円

職員の作業効率の向上、防災情報等の速やかな情報提供に対応できる等、利用者にとって分かりやすいホームページにリニューアルします。

財源内訳:
(繰) 110万円
(一) 4万4千円

◎新規 新地方公会計及び公共施設等総合管理計画整備事業： 594 万円

市財政の効率化及び適正化等を目的とする新地方公会計と公共施設等の計画的な更新、長寿命化等を目的とする公共施設等総合管理計画を一体的に整備します。

平成 27 年度は、固定資産台帳の整備により公共施設等資産の把握に努めます。

債務負担 期間：平成 27 年度～平成 29 年度

限度額：2,404 万円

財源内訳：	
(一)	594 万円

○継続 社会保障・税番号制度に伴うシステム整備事業： 7,164 万 4 千円

社会保障・税番号制度に伴い基幹系システムの改修を行い、行政運営の効率化や公正な給付と負担の確保、市民の利便性の向上を図ります。

財源内訳：	
(国)	2,350 万 3 千円
(一)	4,814 万 1 千円

◎新規 大型バス更新事業： 2,147 万 1 千円

現行バスの老朽化に伴い、市民活動を推進するとともに安全で快適なバス運行の確保を図るため、新規車両に更新します。

財源内訳：	
(債)	1,590 万円
(一)	557 万 1 千円

◎新規 市債権管理事業： 149 万円

市の所有する非強制徴収公債権及び市債権を効率的かつ効果的に管理するため、野洲市債権管理条例等に基づき債権の管理体制及び手法の整備を図ります。

財源内訳：	
(一)	149 万円

○継続 コミュニティ活動推進事業： 3,672万6千円

(前年度：6,477万6千円)

住民と行政の協働によるまちづくりの推進のため、自治会等が取り組む活動に対して補助金を交付します。

- ・自治会活動活性化補助金 1,652万1千円
- ・コミュニティ助成 1,420万円
- ・自治会館等建設事業補助金 526万2千円
- ・景観形成事業費補助金 65万円
- ・自治連合会補助金 9万3千円

財源内訳：

(県)	28万3千円
(繰)	1,500万円
(諸)	1,420万円
(一)	724万3千円

○継続 コミュニティセンター運営費： 6,326万1千円

(前年度：6,314万円)

地域コミュニティの拠点として大きな役割を担っているコミュニティセンターの管理運営について、各学区自治連合会等との協定に基づいた指定管理者制度により、より身近で親しみのある施設として市民の利用に供します。

財源内訳：

(使)	700万円
(繰)	5,000万円
(一)	626万1千円

その他

○継続 工業振興助成金： 5,000万円 (前年度：5,000万円)

工業振興条例に基づき、申請のあった15企業に助成金を交付します。

交付総額	15億2,834万円
平成26年度末の交付済額	11億4,761万円
平成26年度末の未交付額	3億8,073万円

財源内訳：

(一)	5,000万円
-----	---------

○継続 不用資産の処分（売払い）：【歳入】 1,687 万円

（前年度：2 億 672 万 5 千円）

遊休資産等の処分・活用の検証を経て、有効活用の見通しが低いと考えられる土地等の売却を進めます。